

【担当教員名】 福田一雄	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

言語学の基本的な考え方と言語研究の歴史を概観し、言語学の各領域を解説する。まず言葉の研究とは何かを考える上で、言語観の変遷を取り上げる。それは、同時に言語研究の歴史を振り返ることになる。続いて、現代言語学の研究領域・研究分野を概説。さらに、言語の単位としての音声、音韻、語、文、テキストを取り上げて解説する。社会・文化的要因と言語との関係について、ハイデー派言語学、語用論、社会言語学の視点から論じる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 1 言語学の入門的知識を身につける。
- 2 言語学、言語観の史的展開についての知識を得る。
- 3 現代言語学の研究分野について理解する。
- 4 言語の単位について考える。
- 5 言語の構造について考える。
- 6 言語の社会性について学ぶ。
- 7 言語と文化の相互関係について学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	導入		対話と講義
2	言語観		講義
3	言語観		講義
4	言葉の特徴		講義
5	言葉の特徴		講義
6	言語学の諸分野		講義
7	言語学の諸分野		講義
8	言語の単位		講義
9	言語の単位		講義
10	言語の単位		講義
11	統語論の諸相		講義
12	会話と含意		講義
13	言語の社会・文化性		講義
14	まとめ		講義と対話

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	使用しない。			
参考書	授業中に適宜紹介する。			
その他の資料	プリント等。			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席、受講態度、レポートなどを総合して評価する。	授業中の質疑応答や、意見を求めた際の積極性を重視する。			